

群衆の音

青島広志の只今 聴きたい曲!

秋のうれしい コンサート in SAKAI

指揮・おはなし
青島 広志

プログラム

- 【カッコいい曲】 ホルスト／「惑星」から《木星》
- 【心が洗われる曲】 マスネ／タイスの瞑想曲
- 【なつかしい曲】 チャイコフスキー／「白鳥の湖」から《情景》
- 【うれしい曲】 オフエンバック／「天国と地獄」から《カンカン》ほか

※演奏曲目・出演者は変更になる場合があります。



テノール：小野 勉

2024.11.16 土

人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 大ホール

開場 13:00 | **開演 14:00**



チケット【全席指定】

一般 3,000円 (ときめきくらぶ会員2,800円)
学生 1,200円 (高校生以下)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

プレイガイド

人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 0270-76-2222
メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 0270-23-6070
伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ 0270-63-1200

チケット発売日

8月15日(木) 9:00から、ときめきくらぶ会員電話予約
(境総合文化センターのみで受付/席の列番の指定はできません)

8月17日(土) 9:00から一般電話予約(境総合文化センターのみで受付)
※当日の窓口販売および、席の列番指定はできません。

お問い合わせ&チケット

人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター
<http://www12.wind.ne.jp/sakaibunka/>

TEL 0270-76-2222



Autumn Concert in SAKAI

伊勢崎市委託文化事業

第48回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば

群馬交響楽団演奏会

秋のうれしいコンサート in SAKAI



Conductor 青島 広志
指揮・おはなし・構成 Hiroshi Aoshima

1955年東京生まれ。

東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了し、修了作品のオペラ「黄金の国」（原作：遠藤周作）が同大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」（原作：手塚治虫）、「黒蜥蜴」「サド侯爵夫人」（原作：三島由紀夫）、管弦楽曲「その後のピーターと狼」、合唱曲「マザー・グースの歌」、ミュージカル「11ぴきのネコ」など、その作品は300曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も50年を超え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。

NHK「ゆかいなコンサート」の初代監督を8年務め、現在もNHKラジオ「みんなのコーラス」「高校音楽講座」にレギュラー出演のほか、テレビ朝日「題名のない音楽会」アドバイザー、日本テレビ「世界一受けたい授業」、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」、TBSラジオ「こども電話相談室」にも出演。著書に『モーツァルトに会いたくて』『青島広志でございます!』『あなたも弾ける!ピアノ曲ガイド』（学習研究社）、『やさしくわかる楽典』（日本実業出版社）、『作曲ノススメ』（音楽之友社）、『21世紀こどもクラシック』（全5巻・小学館）、『音楽家ってフシギ』（東京書籍）、『オペラ作曲家によるヘンなオペラ超入門』『作曲家の発想術』（ともに講談社）などがある東京藝術大学元講師、洗足学園音楽大学客員教授。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員、聖徳大学客員教授。



Tenor 小野 勉
テノール Tsutomu Ono

都立八潮高卒。高一の冬、とても素敵な先輩に誘われて、うっかり入ってしまった合唱部。これがきっかけとなり音楽の道を進むこととなる。フォンテックに勤務、ディレクターとしてレコード、CD制作に携わる。青島広志氏に見出され、ソロ演奏活動を始める。東京オペラプロデュース公演「黄金の国」（遠藤周作／青島広志）でオペラデビュー。第12回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位入賞。その後、テノール歌手に転職する。NHK「高校講座音楽I」、日テレ「アウトデラックス」などに出演。青島氏プロデュースの舞台に出演。手塚治虫原作「火の鳥」をはじめ、「バールギントの大冒険」「幸福な王子」「大好き!ドラキュラ君」等がある。また、オーケストラとの共演も多く、アンサンブル金沢、大阪交響楽団、名古屋フィル、中部フィル、東京フィルほかと共演。テノールとして童謡からオペラアリアまで幅広いレパートリーを持ち、その歌声を提供している。

Orchestra

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2023年度までに延べ650万人を超える児童・生徒が鑑賞し、1982年からは高校音楽教室も開催されている。1981年から群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。2003年NHKテレビ番組「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」で楽団の草創期が紹介され、2004年に天皇皇后両陛下、デンマーク国王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催している。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、2023年4月に就任した飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指し、2024年に定期演奏会第600回、2025年に創立80周年を迎える。

人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター ご案内図

